

外国籍県民かながわ会議（第11期）の提言概要

提言1 ICTツールを活用した外国籍県民への情報提供

神奈川県が各自治体と開いている災害関係の情報共有会議などを通じて、既存のICTツールや電子情報を活用することで災害時の多言語情報提供の取組を促進してほしい。

また、ネット情報で外国人住民が必要としている日常生活情報を提供できるように動画コンテンツなどを作りたい。

提言2 外国籍県民かながわ会議の発信力向上のための環境整備

外国籍県民かながわ会議は今期で20年。しかし、会議自体があまり多くの人に知られておらず、そこから出された提言はなおさらである。

外国籍県民かながわ会議の委員が更なる優秀な提言案ができるような環境整備が必要である。県民会議の発信力の向上によって、多くの外国籍県民が仲間になり、より良い多文化共生社会の実現に近づくと考える。

提言3 地域住民との交流促進のための町内会活用案

外国籍県民を最もスピーディーかつ身近でサポートできるコミュニティとして、「町内会」の活用を県から各市町村に提案していただきたい。

外国籍の方も「地域の住民」であることを考えると、身近にサポーターがいると心強い。一方で、face-to-faceのコミュニケーションには、言葉が壁となるため、言語面のサポート体制の構築も同時に必要だと考える。

提言4 外国につながる子どもと保護者のための小学校入学前の説明会の実施

外国籍の保護者に対しその子息の小学校入学前準備、学習内容、行事、校内生活等について多言語で対面並びにZoomで説明会を行うこと。具体的に小学校生活の動画を作成し、神奈川県ホームページに載せていただきたい。

説明会に関する事前広報にも力を入れていただきたい。具体的に県から市町村の国際政策担当課へ打診をお願いしたい。

ていげん がいこくじん ふ
提言5 外国人ボランティアを増やすプロジェクト

けんりつちゅうとうきょういっくがっこう こうとうがっこう だんたい ほんやく つうやく てつだ
県立中等教育学校・高等学校やNPO団体などで翻訳や通訳の手伝いをす
る外国人ボランティアを増やすため、ボランティア活動を支援する予算を立て
ていただきたい。

がいこくじん ぼしゅう たんとう ぶしよ かつどう
また、外国人ボランティアの募集を担当する部署と、ボランティア活動に
しがん がいこくじん てがる しんせい せいど ひつよう
志願する外国人にとって手軽に申請できる制度が必要である。

ていげん こうれいしゃ がいこくせきけんみん あんしん せいかつ たいせい こうちく
提言6 高齢者の外国籍県民が安心して生活できるサポート体制の構築

かいごほけんせいど かん きそちしき かいごにんてい りよう なが とう
介護保険制度に関する基礎知識や、介護認定からサービス利用までの流れ等
を分かりやすく多言語で説明するリーフレットを作成し、介護が必要になる前
から介護保険制度の知識が得られるよう情報発信していただきたい。

かいご かん せんもんてき きょういくじんざい いくせい すす けんこういじ
介護に関する専門的な教育人材の育成を進めるとともに、健康維持や
いばしょ がいこくせき こうれいしゃ こうりゅうじぎょう た あ
居場所づくりのため外国籍の高齢者の交流事業も立ち上げていただきたい。

こうれい じんせい さいご むか じかん かんが
高齢になり人生の最期を迎えることについて、じっくり時間をかけて考える
きかい さいさ たいせい ひつよう
機会と、それを支えるサポート体制が必要である。

ていげん かながわけん こ けんり かん じょうれい せいてい
提言7 神奈川県で子どもの権利に関する条例制定

かながわけん こ けんり かん じょうれい せいてい こ ども とりま
神奈川県で子どもの権利に関する条例を制定してほしい。子どもを取り巻
く環境を改善し、子どもの権利を守る社会にしてほしい。

ていげん がいこくじん ちほうさんせいけん せんきょけん ひ せんきょけん どうにゆう
提言8 外国人の地方参政権（選挙権・被選挙権）導入

がいこくせきけんみん いけん にほんしゃかい ほんえい えいじゆう ちょうき
外国籍県民の意見が日本社会に反映されるよう、永住など長期にわたり
たいざい がいこくせきけんみん たい ちほうさんせいけん あた ようせい
滞在する外国籍県民に対して地方参政権を与えるよう要請する。

ていげん にほんごきょういく ふく きょういくしえん
提言9 日本語教育を含む教育支援について

がいこくせきけんみん きょういくしえん い か ないよう じっし
外国籍県民への教育支援として、以下の内容を実施していただきたい。

こうりつしょうちゅうがっこうむ わ にほんご ぼごもち きょうざい
①公立小中学校向けの分かりやすい日本語、母語を用いたオンライン教材
の作成

しんせつやかんちゅうがっこう ざいけんわくこうこう にゆうがく せいと しえんきょうか
②新設夜間中学校、在県枠高校に入学した生徒への支援強化

ちいき にほんごきょうしつ もくひょう にほんごがくしゅうじつげん む たいけいか
③地域の日本語教室の目標ある日本語学習実現に向けた体系化

ていげん がいこくじんきぎょうかしえん
提言10 外国人起業家支援について

がいこくじんきぎょうか しえん い か ないよう じっし
外国人起業家を支援するため、以下の内容を実施していただきたい。

- ① けん がいこくじんきぎょうか しよきしきん じよせいきん だ
県から外国人起業家に初期資金として助成金を出す。
- ② にほん きぎょう せつめいかい ひら
日本で起業するプロセスについて説明会やワークショップを開く。
- ③ がいこくじんきぎょうか しえん ほうりつじむしょ しょうかい
外国人起業家を支援する法律事務所などを紹介する。
- ④ かな がわけんない がいこくじんきぎょうか めいぼ さくせい こうちく じぞく
神奈川県内の外国人起業家の名簿を作成し、ネットワークを構築し、持続
かのう めざ
可能なコミュニティを目指す。

また、がいこくじんじんざい さいよう きぎょう たい けいしき けんしゅう
外国人人材を採用した企業に対してワークショップ形式の研修を
ていきょう
提供してほしい。

ていげん けんりつ どうにゆう たげんご どうにゆう
提言11 県立インターナショナル・コースの導入、多言語サークルの導入

こうりつがっこう どうにゆう あんか えいごきょういく う
公立学校にインターナショナル・コースを導入し、安価で英語教育が受け
られる環境を提供していただきたい。こくさいてき かんきょう にほんじんおよ がいこくせき
国際的な環境で日本人及び外国籍の
こどもたちが いっしょ べんきょう こと たぶんかきょうせい じつげん かんが
子どもたちが一緒に勉強する事で、多文化共生も実現できると考える。

また、いろいろ くに こ きんか こうりよ たげんご
また、色々な国の子どもたちが参加することも考慮し多言語サークル
けいしょうご しゅうとく せつりつ つよ すず
(継承語の習得のため) の設立も強くお勧めする。